

教育目標 自ら学ぶ・友と学ぶ・仁科の里に学ぶ

【教育理念】

「一人ひとりの輝きを認め合う学校」

めざす教師像：子どもに寄り添い、共に学ぶ教師

めざす学校像：授業を根幹とする学校

《 学校づくりのねらい 》

一人ひとりの輝きをそれぞれが認め合う学校づくりと、自分の考えをもち、対話によって深め、より良い考えを創りあげていく「協働の学び」の実践を通して、よりよく生きるために学び続ける子どもを育成する。

めざす子ども像

～よりよく生きるために学び続ける～

- ・明日を楽しみに、進んで学ぶ子ども
- ・安心して学び合い、高め合う子ども
- ・ふるさとに愛着をもち大切にすること

《 教育課題と重点 》

教育課題

自己調整学習力・自己有用感の育成

(重点1・学びづくり)

- 主体的で対話的な深い学びを。
- ・対話を基盤とした協働の学び
3つの学び方の定着をめざす
 - ・思わず挑戦したくなるような「問い」の開発
 - ・一人ひとりが願いをもって解決していく生活・総合を核とした探究的な学び

(重点2・なかまづくり)

- 一人ひとりが主役となる学びの場を。
- ・認め合い、安心できる場づくり
(集団づくり、縦割り活動など)
 - ・ユニバーサルデザインによるインクルーシブ教育の充実

○学習システム

- ・大町中学校と市内4小学校と「協働の学び」でつなぐ小中一貫カリキュラム
- ・自分から深くかかわる活動や体験を実現する教科横断的なカリキュラム

○地域との協働システム

- ・学校運営委員会と協力しながら学校づくりを進め、めざす子ども像を共有しながら、保護者、学校支援ボランティアと共に、放課後スマイルスペースなどの活動を通し、児童の育ちを支える

○職員の研修システム

- ・学校経営ビジョンの共有および自己課題に応じたLCによる授業づくり
- ・子どもの話題が飛びかう雰囲気づくり
- ・子どもと向き合う時間を確保しながらも、キャリアステージに応じた課題研修